

1. 評価報告概要表

【評価実施概要】

事業所番号	2470200888
法人名	有限会社 日本サポートリンク
事業所名	色えんぴつのグループホーム
所在地 (電話番号)	四日市市赤堀1丁目6番2号 (電話) 059-350-4165
評価機関名	三重県社会福祉協議会
所在地	津市桜橋2丁目131
訪問調査日	平成 19 年 8 月 17 日(金)

【情報提供票より】 (H19年7月28日事業所記入)

(1) 組織概要

開設年月日	平成 14 年 10 月 1 日		
ユニット数	1 ユニット	利用定員数計	9 人
職員数	12 人	常勤 6人, 非常勤 6人, 常勤換算 6.5人	

(2) 建物概要

建物構造	スチール 造り		
	1 階建ての	階 ~	1 階部分

(3) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	50,000 円	その他の経費(月額)	8,000 円
敷 金	(有) 300,000 円 無		
保証金の有無 (入居一時金含む)	有(円)	有りの場合 償却の有無	有 / 無
食材料費	朝食	円	昼食 円
	夕食	円	おやつ 円
	または1日当たり 1,500円		

(4) 利用者の概要(7 月 28 日現在)

利用者人数	9 名	男性 2 名	女性 7 名
要介護1	3 名	要介護2	2 名
要介護3	2 名	要介護4	1 名
要介護5	1 名	要支援2	1 名
年齢	平均 93 歳	最低 77 歳	最高 94 歳

(5) 協力医療機関

協力医療機関名	南浜田クリニック
---------	----------

【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

<p>ホーム周辺は工場地帯のため地域住民とのかかわりは少ないが、家族の面会は頻繁にある。食堂、調理場からは玄関への視線が一望でき、利用者の見守り支援につながっている。利用者と職員共に落ち着き、笑顔がとても良い雰囲気である。</p>

【重点項目への取り組み状況】

重点項目①	<p>前回評価での主な改善課題とその後の取り組み、改善状況(関連項目:外部4)</p> <p>前回調査改善課題は改善され、運営推進会議も目前まで進められている。</p> <p>今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4)</p> <p>管理者はじめ職員は、自己評価の意義、目的を理解され、全員で評価に取り組んでおられ、改善にも取り組んでいる。</p>
	<p>運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4, 5, 6)</p> <p>運営推進会議の第1回目を8月23日開催に向けて取り組んでいる。</p>
重点項目②	<p>家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部7, 8)</p> <p>家族の面会が頻繁であるため、面会ノートを作成し、苦情等書き込めるようにしている。出てきた苦情は職員全員で検討している。</p>
重点項目③	え
重点項目④	<p>自治会、老人会への加入をされ、地域住民との交流を深めていただきたい。</p>

2. 評価報告書

取り組みを期待したい項目

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
I. 理念に基づく運営					
1. 理念と共有					
1	1	○地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	「いつでも・どこでも・私らしく」を理念とし、玄関、詰所に掲げ、職員は毎日それを確認している。	○	地域密着型サービスにともない、理念の中に「地域の中で」と一言加えていただきたい。
2	2	○理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	介護の場では理念は共有化され、利用者一人ひとりに声かけをする時も理念の実践に向けて取り組んでいる。		
2. 地域との支えあい					
3	5	○地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	ホームでの行事は自治会を通じてお知らせをし、見学に来ていただいたこともあり、地元の人々と交流することに努めている。	○	ぜひ自治会に加入され、地域行事への参加もされ、さらに交流をもたれることを期待する。
3. 理念を実践するための制度の理解と活用					
4	7	○評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	自己評価及び外部評価の意義はよく理解され、全職員で取り組まれ昨年の改善点はクリアされている。		
5	8	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	自治会・行政・老人会・民生委員・利用者・家族の参加のもとで来たる8月23日に第1回目を開催する予定である。	○	ホームへの理解やケアサービス向上のためにも運営推進会議で地域の方への働きかけに期待する。

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
6	9	<p>○市町村との連携</p> <p>事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる</p>	<p>介護相談員の訪問を受け、入居受け入れ可能な情報は行政に申し出ている等、連絡をとる機会を作る努力をしている。</p>	○	<p>地域センターへホーム便りなどで事業所が認知症ケアの拠点であることを知ってもらい働きかけを期待する。</p>
4. 理念を実践するための体制					
7	14	<p>○家族等への報告</p> <p>事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々に合わせた報告をしている</p>	<p>月1回発送するお手紙は、利用者ごとにホームでの暮らしぶりを一目で判るシートを活用し報告している。</p>		
8	15	<p>○運営に関する家族等意見の反映</p> <p>家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	<p>家族の面会も多く、面会ノートを作成し、苦情等書き込めるようにしている。出てきた苦情に関しては常日頃から話し合わせ、運営に反映している。</p>		
9	18	<p>○職員の異動等による影響への配慮</p> <p>運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている</p>	<p>職員の異動はなしにすることを前提として取り組んでいる。職員も過去1年間離職もなく定着しつつある。</p>		
5. 人材の育成と支援					
10	19	<p>○職員を育てる取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>外部研修に出席すると報告書を作成し、回覧することで職員全員が共有できている。</p>	○	<p>若い職員にも研修参加の機会を増やし、職員育成の取り組みを期待する。</p>
11	20	<p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	<p>グループホームのネットワークには入会され、他のグループホームとの交流され、サービスの向上のための取り組みをしている。</p>		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
	12	26	○馴染みながらのサービス利用 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している		併設のデイサービスを利用し少しずつ慣れていただき、家族と相談の上、ホームを利用していただくように工夫している。
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
	13	27	○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている		一緒に暮らすうちにお互いに相手の思いが分かるようになり、利用者から学んだり支えあう関係を作っている。
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
1. 一人ひとりの把握					
	14	33	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している		何気ない時に言われたつづきやさえも聞きもらさないようにして、一人ひとりの希望を聞く努力をしている。
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し					
	15	36	○チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している		月末にカンファレンス会議を設け、具体的なケアについて話し合い、介護計画を作成している。
	16	37	○現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している		変化があるなしに関わらず、月1回の話し合い、現状に即した新しい計画を作成している。

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
3. 多機能性を活かした柔軟な支援					
17	39	○事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	利用者の方で一人での外出希望があった場合、最寄の駅までの往復送迎だけでなく、GPSを活用し状況把握する等、個別対応をしている。		
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働					
18	43	○かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	協力医療機関を主なかかりつけ医とし、職員への助言も得られ、適切な医療を受けられる支援をしている。		
19	47	○重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	早い段階で事業所での対応を伝えご家族と相談話し合い、重度化終末期のあり方について全員で方針を共有している。		
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
1. その人らしい暮らしの支援					
(1)一人ひとりの尊重					
20	50	○プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	本人のプライバシーを傷つけないよう、一人ひとりに応じた対応をし、個人情報については利用者、家族が入ってこれない事務所で管理されている。		
21	52	○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	草取り、テレビ、雑誌を読まれる利用者のペースを見守られ、希望にそった支援をしている。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
22	54	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	食事の下ごしらえ、後片付けなど、利用者で出来る方は職員と一緒にしている。		
23	57	○入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	日曜日以外の毎日午後に希望にあわせて実施している。一番でないと納得されない利用者には希望にあわせて楽しめるよう支援している。		
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
24	59	○役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	ホーム周辺の草取りを楽しみながら毎日される利用者もおられ、自由に出入りができるよう楽しみごとへの支援をしている。		
25	61	○日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	庭での食事会、外食また食材の買い物の時も利用者に同伴していただく等、戸外に出られる機会を作る支援をしている。		
(4) 安心と安全を支える支援					
26	66	○鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	全ての職員は鍵をかけることの弊害を理解し、利用者に寄り添う介護をし、日中は鍵をかけないケアに取り組んでいる。		
27	71	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	運営推進会議のテーマに設け、地域の人との協力を得られるように働きかけをする予定である。	○	地域住民の協力が大切であり、ぜひ協力が得られるよう働きかけをお願いする。

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
28	77	○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	栄養のバランス、水分量は一日通じて確保できるよう、食事時のすまし汁のおかわりを勧めたりしている。水分不足になる利用者にはマイペットボトルを用意し、水分確保できるよう支援をしている。		
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり					
(1)居心地のよい環境づくり					
29	81	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	共有空間である食堂と調理場が一体となっていて調理をする職員と会話をしながら時を過ごすことができ、また天窓からの日差しも居心地よく過ごす工夫をしている。		
30	83	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	居室には使い慣れたものや好みのものが置かれ、趣味・家族からの手紙も貼られたり、本人が居心地よく過ごすことができる。		